

2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

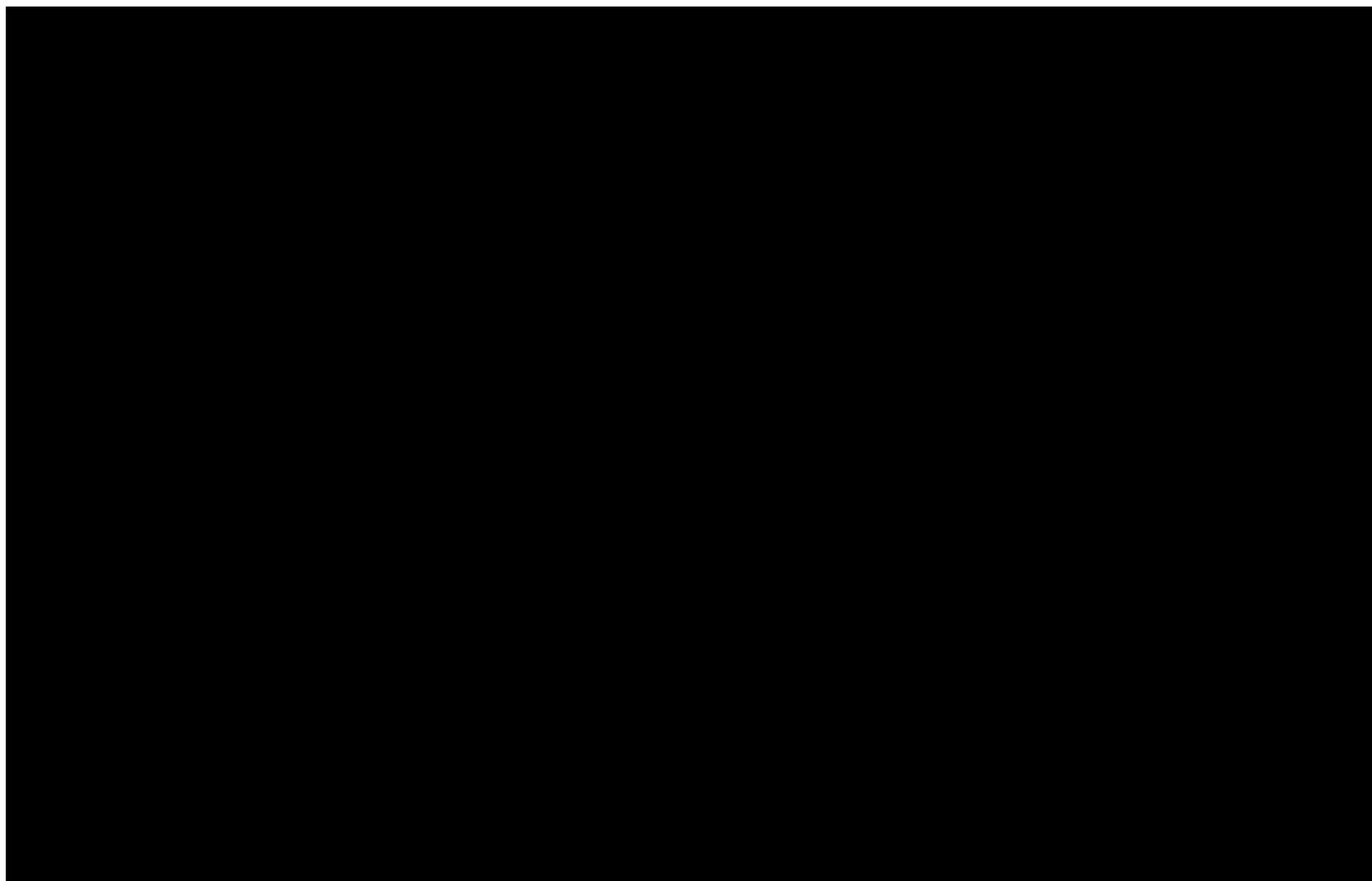
研究科・専攻 【 人文科学研究科 地理学専攻 博士後期課程 】
試験科目 【外国語試験 英語 】

【出題意図】

地理学を学ぶにあたって必要な基礎的知識と，それにかかわる英語力を問う。

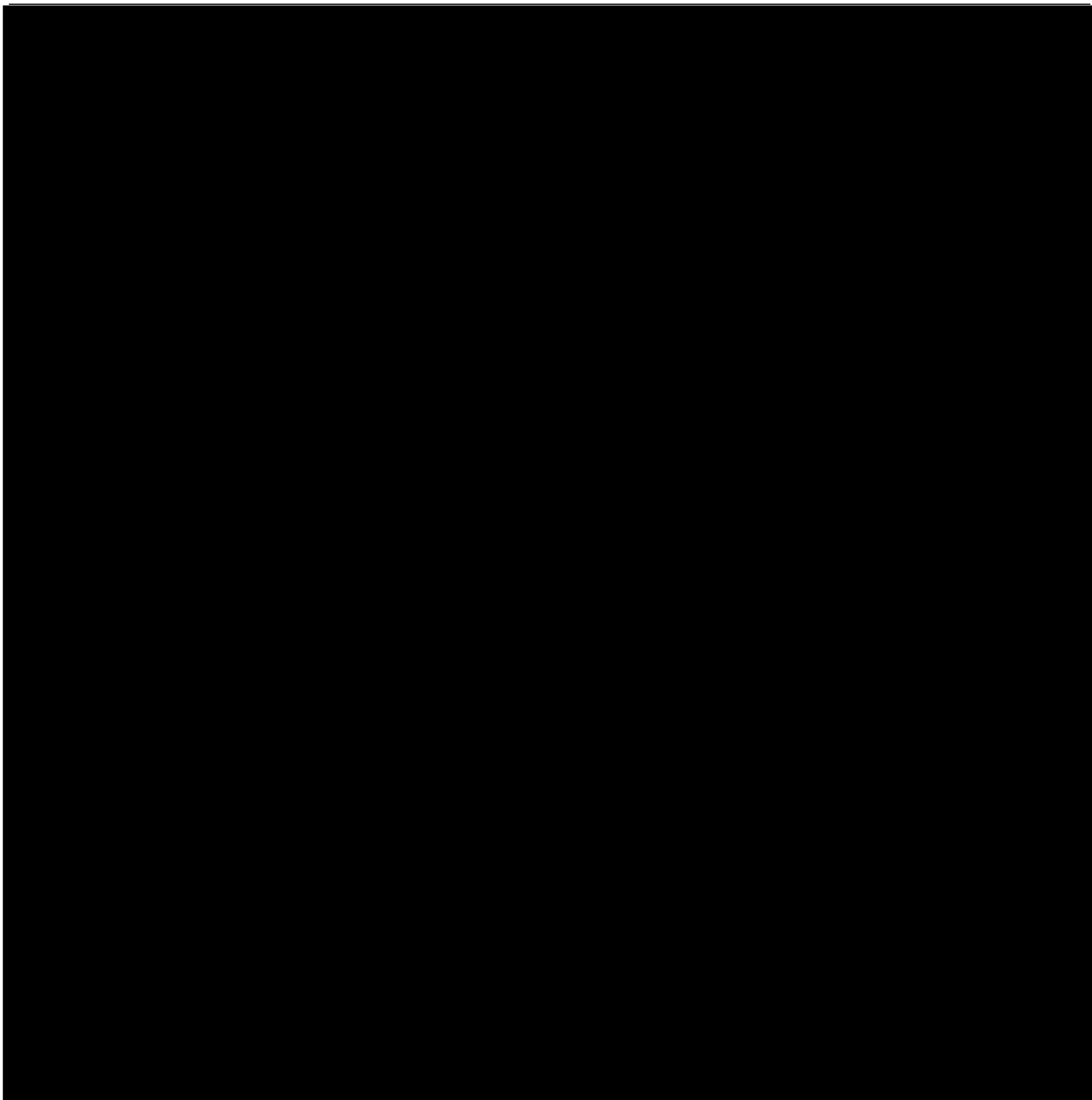
【解答上の注意】全問(問題 I・問題 II)を解答すること。

問題 I 局地的大雨(ゲリラ豪雨)に関する次の英文を日本語に全訳し，解答欄に記入せよ。
ただし図のキャプションは日本語に訳す必要はありません。



2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

【解答例】



2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

問題II GISに関する次の英文を読んで、問1・問2に答えよ。(問1・問2のいずれについても答えること)

【出典：Babinski, G. (2021). GIS&T for Equity and Social Justice. *The Geographic Information Science & Technology Body of Knowledge (2nd Quarter 2021 Edition)*より一部抜粋】

問1 下線部に示す用語の定義を、地理学に即して具体的に説明せよ。

【解答に求められる要素・評価のポイント】

この用語は、「公平性と社会正義（社会的公正）」を意味するものである。したがって、①空間的不平等や地域格差などのキーワードが解答に含まれること。②例えば、人種間による居住地の偏り、地域ごとの職種・収入による経済格差、社会問題に関する地理的分布など、地理学における既往研究や知見を具体的にあげて、論理的に説明されていること、の2点をそれぞれ評価する。

問2 全文の内容を日本語で要約して説明せよ。

【解答例】